



役員室入口

旧会館時代の思い出

〈後編〉

元事務局長 小林 博隆

(聞き手：広報課 宿輪 初音)

宿輪：(前号から続く)「垂れ幕」は弁護士会の主張ですね。会長声明や意見書、そして市民に訴えるための集会とも密接な関係があると思います。今回は市民集会の話です。

小林：そうなのですが、前回、西嶋勝彦先生の話をしたので、東京弁護士会人権賞のいきさつも少し。

宿輪：聞き手の言うこと聞かないし。毎年新年式で表彰していますね。

小林：笹原桂輔会長の時の理事者会で決まりました。西嶋副会長が事務局にやってきて、「小林君、小林君。人権賞だ、人権賞だ」「は？ 人権賞？」「そうだな人権賞だよ」「人権賞ってレコード大賞のようなもんですか？」「何を言ってるんだ。地道に活動している方々を弁護士会が応援するんだよ。そのための賞だ」というわけで、すぐにできちゃった。

宿輪：その年度が第1回(1986年度)。受賞者は越山康先生と尾崎陸先生でしたね。

小林：感動的な受賞者の挨拶もありました。例えば後藤昌次郎先生(第6回、1991年度)。

宿輪：伝説の草笛童子。刑事事件、とくに再審事件に熱心に取り組まれた…。

小林：受賞のあいさつの冒頭で「大変にとまどっています……それは『人権』という言葉の重みを考えるからです……」。それから、第12回(1997年度)のハンセン病の平沢保治さんのお話。みんな涙、涙でした。その時の祝辞来賓の園部逸夫最高裁判事(当時)のお話をよく覚えています。

宿輪：先輩から聞いたことがあります。私も研修で多磨全生園(東京都東村山市)に行っているいろいろ勉強させていただきました。

小林：「新年式といえば、挨拶がいくつかあって、さっさと終わるものだと思っていた。ところが東弁の式は違う。先輩の会員や職員への表彰があって、

人権賞の表彰もある。平沢さんのお話で周りのスタッフの職員がみんな泣いている。とっても感動した。東弁というのはすごいと思う。私は退官したらこういう会に入りたい」というような趣旨でした。

宿輪：それで園部先生は…。

小林：もちろん東弁の会員です。この時のことを思い出して…周りのスタッフに広報課長もいた。

宿輪：それは納得です。人権賞、長く続いていますね。でも「新会館の思い出」になってませんか？

小林：聞き手が悪い。人権賞は今年度で28回目ですが、受賞者の一覧を見ても、東弁に勤めていたことを誇りに思いますし、新年式にはなくてはならない大切な催しになっていますね。

宿輪：そうですね、新しい会館でも、こうして人権の歴史が刻まれていくのですね。

小林：うまくまとめたね。55頁の一覧に「弁護士抜き裁判」というのがあるでしょ。

宿輪：また突然。

小林：そう、突然やってきたらしいんです。

宿輪：???

小林：弁護人がいなくても開廷できるように、刑事訴訟法を改正してしまおうという、考えられないような法案が出てきた。当時、弁護士会あげての反対運動が展開されていました。垂れ幕もありました。

宿輪：垂れ幕はもういいです。きっかけはどんな？

小林：70年代というのは学生が元気な時代でした。

宿輪：日大闘争、東大闘争……お父さんから聞いたことがあります。

小林：うーん。その頃の学生さんなどの裁判をめぐる出てきた問題です。分離公判、一方的な期日指定などをめぐって裁判所と弁護人、被告人が厳しく対立した、懲戒制度の議論にまで発展したというような…法曹三者協議で決着するのですが、誌面の

都合もありますので、これも詳細は「東京弁護士会百年史」（1980年 東京弁護士会百年史編纂刊行特別委員会）で。

宿輪：小林さんが担当された集会で記憶に残っているものはありますか。

小林：拘禁二法案反対の武蔵野集会。それまで、拘禁二法の集会はたくさんあったんですが、多摩地区でやろう、ということで多摩支部の会員が集まって芝居をすることになりました。講演があって、芝居があってというパターンが多かったですね。

宿輪：弁護士さんの芝居。

小林：当時、構成劇なんて言っていました。えん罪で逮捕されて、代用監獄に入れられて、弁護士の接見も妨害されて……というような中身ですね。芝居があって、歌もあったというような。講演は加賀乙

彦さんでした。

宿輪：結構大変そうですね。本格的に練習したりして。

小林：山本哲子先生なんか、お子さんが熱を出してるのに、芝居優先だったりして、いろいろなことを犠牲にされていました。鈴木和弘職員（現事務局長代行）も芝居に出ないと就職の内定を取り消すぞ、と言われたかどうかわかりませんが、生き生きとして出演していた。

宿輪：小林さんは？

小林：僕は、芝居でアベックが座るベンチを井の頭恩賜公園で探してきた。それでやっとベンチ入りができた。

宿輪：あはは。伝説の日比谷公会堂4000人集会というのがありましたね。

小林：国家秘密法の反対集会。26年前です。主担当で

過去の市民集会

開催年月日	集会名(テーマ)	主催(共催会)	会場	参加者数	出演者等
1977. 3. 4	刑法・少年法改悪反対	東	中野文化センター	500	小田実
1977. 4. 27	刑法・少年法改悪反対	東	墨田区民会館	500	丸木政臣 他
1977. 5. 28	刑法・少年法改悪反対	三・日・関	九段会館	1400	水上勉 他
1978. 4. 22	弁護士抜き裁判, 刑法・少年法改悪反対	三・日・関	九段会館	2000	瀬戸内晴美 他
1978.12. 8	弁護士抜き裁判, 刑法・少年法改悪反対	東	野口記念会館		映画, 大塚一男 他
1979. 5. 18	弁護士抜き裁判, 刑法・少年法改悪反対	三・日・関	九段会館	1400	構成劇, 上田誠 他
1980. 5. 29	刑事裁判と国民の人権を考える	三・日・関	久保講堂	700	バラエティショー, 佐野洋 他
1981. 5. 29	刑法・少年法改悪反対	三・日・関	久保講堂	1350	バラエティショー, 紀平梯子 他
1982. 4. 15	代用監獄反対	三・日	ガスホール		佐野洋 他
1983. 2. 23	刑法[改正]・拘禁二法反対	東	四谷公会堂	560	構成劇, 体験談等
1985. 3. 7	拘禁二法案反対	東	武蔵野公会堂	600超	構成劇, 加賀乙彦
1987. 2. 18	国家秘密?を考える	東	日比谷公会堂	4000	映画, 講演, 落語, コント, 森村誠一 他
1987.10.22	拘禁二法と国家秘密法を考える	東	豊島公会堂	1350	劇, 講演, 沢村貞子 他
1988. 5. 11	拘禁二法を裁く	日	日比谷公会堂	2300	劇, 講演, 佐木隆三 他
1989. 4. 28	告発ダイヨウカンゴク	日	九段会館	1000	体験者, スライド, 講話, 神田香織
1991. 7. 19	坂本弁護士事件	救う会	千代田公会堂	1100	劇, パネルディスカッション, 日フィル
1993.11. 2	坂本弁護士事件	日	横浜開港記念会館	800	ボール牧 他
1994.10. 7	坂本弁護士事件 全国キャラバン東京大集会		日比谷公会堂	1800	スライド, トークショー, 演奏, 東ちづる, 小林よしのり
1996. 3. 21	坂本弁護士事件	日・三	クレオ	1500	日フィル, 江川紹子 他
2000. 2. 18	東京ミーティング 裁判が変わる・日本が変わる	日・三	よみうりホール	2000	パネルディスカッション, 田原総一郎 他
2003. 5. 20	武力で平和がつくれますか? イラク攻撃, 憲法・有事法制	日・三	千代田公会堂	600	トーク&ライブ, 下重暁子, 嘉納昌吉 他
2004. 9. 28	弁護士報酬の敗訴者負担法案の廃案を求める市民集会	日・三	朝日ホール	600	シンボ, コントなど, 国会議員
2006. 2. 17	共謀罪新設とゲートキーパー立法に反対する	日・三	クレオ	250	斎藤貴男, 国会議員
2006. 2. 24	このままでいいのか?! 代用監獄	日・三	クレオ	百数十人	体験者, 毛利甚八
2006.10.20	教育法[改正]問題	東	クレオ	少数	斎藤貴男 他
2007. 6. 6	取調べの可視化を考える	日・三	クレオ	280	冤罪被害者, 毛利甚八 他
2010. 9. 1	司法修習生の給費制維持を求める	日・三	クレオ	260	パネルディスカッション, 各種原告団 他
2010. 9. 16	司法修習生に対する給費制存続を求める決起集会・パレード	日・三・関・市民連絡会議	日比谷野外音楽堂	2000弱	

東：東弁 三：東京三弁護士会 日：日弁連 関：関弁連 救う会：坂本弁護士と家族を救う全国弁護士の会

*事務局作成

旧会館時代の思い出

〈後編〉

はなかったんですが。今の特定秘密保護法案と同じような中身でした。市民の皆さんと弁護士会が一緒になっての反対運動も廃案にする大きな力になったんだと思います。この時は、司会が兵藤ゆきさんと木村晋介先生。ゲストがレオナルド熊さんと三遊亭円丈さん。講演は森村誠一さん。会場に入りきれない皆さんは階段のところで応援してくれていました。

宿輪：熱気に溢れた会場の様子がわかります。

小林：会員、市民、職員が一体となって集会を作り上げた、そして成功した、というように思います。実行委員や職員がいろんなところに出かけていって、市民団体、消費者団体、女性の団体、大学、専門学校、市役所、区役所……参加のお願いをしたり、中身の説明をしたりで、大変でしたがとても楽しかった。車も買って宣伝に使いました。Aさんは夕方になって泣きながらワープロを打っているようでした。今回、集会の資料をまとめてもらいました。

宿輪：Aさんが主担当だった。ワープロですか？

小林：パソコンなんかない時代ですから。ワープロだって4～5台しかなくて、順番待ち。

宿輪：順番が来なかったんだ。早い者勝ちみたいなの。

小林：「事務局今昔物語」というのもあるんですが。

宿輪：脱線しないように、でも面白そうですね。戻しましょう。今は、手作りの集会のようなことがなくなってしまったように思います。

小林：新会館で講堂「クレオ」が出来てから、少し状況が変わったような気がします。クレオを使用するようになってから、あまり集客の努力をしなくなってしまったのではないかと、百数十人で満足していないか、というように思っています。お願いに行ってもお願いされる側がよくわからなくなっているということもあるかも知れません。

宿輪：弁護士会の活動は市民の支持、応援がなかったら駄目ですね。「市民とともに」が旧会館をいわば基地にした活動の基本だったんでしょうか。

小林：そう思います。ちょっと残念。例外が一つだけ、たぶん一つだけだと思いますが、横浜弁護士会の坂本堤弁護士事件。この集会だけはクレオに1500

人集まった。

宿輪：言葉にならない事件でした。

小林：同期の皆さんを中心に「救う会」ができた。

その後、東弁の同期の方、とくに小澤哲郎、瀧澤秀俊、中村裕二の三先生が熱心でした。何か東弁に要請があると、必ず三先生がそろって。その熱意で東弁にも対策本部ができた。

宿輪：新入会員歓迎会でのおじさんバンド「歌う弁護士」。

小林：そうです。この時も実行委員、法律事務所の職員、東弁の職員…みんな精力的に頑張った。司会の伊藤芳朗先生の追っかけまでしていました。いま、どうしたら人が集まるか、なんて頭で考えている。考える前に足で稼がないと、待っていても情報は集まらない、こまめに足で…と同じように思います。「広報に期待」です。「宿輪がんばれ」です。そろそろ時間なので、この辺で…。

宿輪：私が職員人事課の頃は、与太話からなるほどと思うような話まで、いろいろ聞かせていただきました。例えば、規則の制定や改正など、何時、誰の時に、どんな経緯で、と全部説明できてしまう。新人の私にまで、丁寧に説明してくださることもあり、本当に垣根の低い「長」だなあとありがたく思っていました。今回も貴重なお話をしていただきました。ありがとうございました。

小林：最後に褒められた。とても楽しかったです。さようなら。



レストラン「メトロ」